

安全データシート

作成日 2019/05/27

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	FastScan™ ELISA Cell Extraction Buffer (5X)
製品コード	69905
SDS 整理番号	S050
会社名	CST ジャパン株式会社
住所	東京都千代田区内神田 1-6-10 笠原ビルディング 10 階
電話番号	03-3295-1630
FAX 番号	03-3295-1633
メールアドレス	regulationjp@cellsignal.com
推奨用途及び使用上の制限	ライフサイエンス研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性 —

上記以外の危険有害性については分類対象外または分類できない。

GHS ラベル要素

注意喚起語 —

危険有害性情報 —

安全対策
取扱い後は手、顔、露出した皮膚をよく洗うこと。
粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
汚染された保護位は室内に出さないこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/顔面保護具を着用すること。

救急措置
皮膚に付着した場合、多量の石鹼と水で洗うこと。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合、洗濯すること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。

廃棄
内容物、容器は専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法	安衛法	
ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル	1- $<$ 3 %	(7)-172		9002-93-1
フッ化ナトリウム	0.21 %	(1)-332	2-(9)-487	7681-49-4

4. 応急処置

眼に入った場合	眼を十分量の水で、少なくとも 15 分間注意深く洗うこと。医師に相談すること。
皮膚に付着した場合	皮膚を石鹼と多量の水で洗い流すこと。症状が続く場合、医師に連絡すること。
吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移動すること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。その後多量の水を飲むこと。
重要な急性及び遅発性症状	皮膚の炎症と眼への刺激。
緊急の医療処置	対症療法

応急対応者への助言

一般：追加の支援が必要な場合は、最寄りの関係機関に連絡すること。
応急対応者の保護：関与する物質を認識し、自分自身を保護するための予防策を講じること。

5. 火災時の処置

消火剤

適切なもの：現場の状況および周辺環境に適した消化剤
不適切なもの：注意！水の散布は非効率である可能性

特有の危険有害性

情報なし

爆発の可能性

なし

消火対応者の保護

適切な空気呼吸器を使用し、耐熱性防護服を着用すること。

6. 漏出時の処置

人体に対する注意、保護具、緊急措置

個人用保護具を使用し、皮膚や目との接触を避けること。
安全な場所に避難させること。

周辺に対する配慮

蒸気が低地に蓄積し、爆発性の濃度を形成する可能性あり。

封じ込め及び浄化方法・機材

封じ込め：安全を確保した上でそれ以上の漏れやこぼれを防ぐ。
浄化：不活性な吸収材で吸収・回収し、回収後は適切なラベルのついた容器に移す。痕跡は水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全な取扱い

安全および衛生に配慮して適切に取扱うこと。

安全な保管条件

保管条件と技術的な対策：容器を密閉して冷乾所にて保存すること。
適切な梱包材：情報なし
不適切な資材：情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

個人対策

顔及び眼：適切な顔及び眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体：適切な保護衣を着用すること。
呼吸器：適切な呼吸器保護具を着用すること。暴露限界を超えたり、刺激が生じたりした場合は、NIOSH/MSHA 認定の呼吸用保護具を着用すること。空気中の汚染物質が高濃度な場合には、陽圧供給式呼吸用保護具が使用すること。呼吸器の保護については、現段階での現地の法規制に従って行うこと。

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状：液体
色：無色透明
匂い：情報なし
pH：7.0 (20°C)

融点・凝固点

情報なし

沸点、初留点及び沸騰範囲

情報なし

燃焼性又は爆発範囲

情報なし

引火点

情報なし

蒸気圧

情報なし

蒸気密度（空気=1）	情報なし
比重（密度）	情報なし
溶解度	情報なし
オクタノール／水分配係数	情報なし
自然発火温度	情報なし
分解温度	情報なし
粘度	情報なし
爆発性	情報なし
酸化性	情報なし
軟化点	情報なし
分子量	情報なし
揮発性有機化合物	情報なし
密度	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
安定性	推奨される保管及び取扱い条件下では安定
危険有害反応可能性	通常の条件下ではなし
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	現時点の情報からはなし
危険有害な分解生成物	現時点の情報からはなし

11. 有害性情報

可能性のある暴露経路に関する情報

吸入	気道を刺激する可能性
眼への接触	刺激を引き起こす可能性
皮膚への接触	繰り返しまたは長期間の皮膚接触は、アレルギー反応を引き起こす可能性
摂取	粘膜を刺激する可能性

各成分の単一成分としての有害性情報は下記の通りである。

化学名又は一般名	LD50（経口）	LD50（経皮）	LC50（吸入）
ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル	1800 mg/kg (Rat)		
フッ化ナトリウム	52 mg/kg (Rat)	175 mg/kg (Rat)	

以下の記載は各成分の混合物としての評価に基づく。

急性毒性（経口）	急性毒性推定値（ATEmix）が 19191 mg/kg であることから区分外とした。
急性毒性（吸入）	急性毒性推定値（ATEmix）が 2270 mg/L であることから区分外とした。

皮膚腐食性／刺激性	ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテルは区分外、フッ化ナトリウムは分類できないため、区分外とした。
眼に対する重篤な損傷／刺激性	ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテルは区分 2A であるが濃度が 1% であり、フッ化ナトリウムは区分 1 であるが濃度が 0.21% のため、区分外とした。
感作性	可能性あり
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	可能性があるとは言えない
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性（単回）	情報なし
特定標的臓器毒性（反復）	情報なし
神経系への影響	情報なし
誤嚥の危険性	情報なし

12. 環境影響情報

各成分の単一成分としての環境影響情報は下記の通りである。

化学名又は一般名	藻類に対する毒性	魚類に対する毒性	水生無脊椎動物に対する毒性
ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル		LC50 8.9 mg/l (<i>Pimephales promelas</i>) 96 h	EC50 26 mg/l (<i>Daphnia</i>) 48 h
フッ化ナトリウム	EC50 850 mg/L (<i>Desmodesmus subspicatus</i>) 72 h EC50 272 mg/L (<i>Pseudokirchneriella subcapitata</i>) 96 h	LC50 530 mg/L (<i>Lepomis macrochirus</i>) 96 h LC50 180 mg/L (<i>Pimephales promelas</i>) 96 h LC50 38 - 68 mg/L (<i>Oncorhynchus mykiss</i>) 96 h LC50 830 mg/L (<i>Lepomis macrochirus</i>) 96 h	EC50 98 mg/L (<i>Daphnia magna</i>) 48 h EC50 338 mg/L (<i>Daphnia magna</i>) 48 h

以下の記載はポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル及び、フッ化ナトリウムの混合物としての評価に基づく。

持続性と分解性	情報なし
生体内蓄積	情報なし
モビリティ	情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関係法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染された容器及び包装	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

輸送上の危険物としての規制の対象ではない。

15. 適用法令

ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル	化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）：第 1 種指定化学物質（法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1）
フッ化ナトリウム	労働安全衛生法：名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9）

16. その他の情報

免責条項：この安全データシートに記載されている情報は、その発行日における弊社の知識、情報、及び方針の範囲内で正しいものです。その情報は、安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、および放出に関する手引きとしてのみ記載されており、保証または品質仕様をなすものではありません。またこの情報は指定した特定の物質にのみ適用されるものであり、他の物質とともに使用する場合、または他の手法で使用される場合には、この MSDS に記載のない限り適用されないことがあります。

安全データシート終